

一般財団法人 **地域創造**

平成26年度
公共ホール演劇ネットワーク事業
報告書

こどもとおとなのためのお芝居
『暗いところからやってくる』

助成事業

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会

目次

目次	1
はじめに	3
実施要綱	4
事業の流れ	6
事業予算	7
公演概要	8
ツアースケジュール	9
インタビュー	10
ワークショップの流れ	11
実施データ	
神奈川	12
水戸	13
世田谷	14
佐世保	15
大野城	16
豊橋	17
春日井	18
北九州	19
ちらし	20

一般財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との密接な連携のもと、全国の地方公共団体や関連の公益法人などが実施する文化・芸術活動に対して財政的な支援を行うほか、財団の自主事業として、研修交流事業、公立文化施設活性化推進、調査研究等などの事業に取り組んでいます。

これらの事業の一環として「公共ホール演劇ネットワーク事業」を実施しています。これは、各地域において、上質な演劇公演と、演劇の手法を活用した地域交流プログラム（学校等でのアウトリーチまたは一般向けのワークショップ）を実施することにより、観客の創出・育成や子どもたちのコミュニケーション能力・想像力・創造力の向上をサポートする事業です。

平成26年度は、こどもとおとなのためのお芝居『暗いところからやってくる』（作：前川知大、演出：小川絵梨子）の上演と、観劇前にお芝居をより楽しむためのワークショップ活動をKAAT神奈川芸術劇場（神奈川県横浜市）、水戸芸術館ACM劇場（茨城県水戸市）、世田谷シアターラム（東京都世田谷区）、アルカスSASEBO（長崎県佐世保市）、大野城まどかぴあ（福岡県大野城市）、穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）、春日井市民会館（愛知県春日井市）、北九州芸術劇場（福岡県北九州市）の8地域で実施しました。ワークショップに参加した子ども達は、いきいきとした表情で自分の意見やアイデアを出し合い、参加者同士協力しながら楽しんで取り組んでいました。

この報告書は、「平成26年度公共ホール演劇ネットワーク事業」において実施した事業内容をまとめたものです。本事業の成果が活かされ、地域のホールが創造的な活動の場となり、ネットワークの形成が活発に行われるようになることを願っております。また、この報告書が地域の公立文化施設の職員や地方公共団体の芸術文化担当者の参考となり、微力ながら公共ホールの運営に役立てられれば幸いです。

結びに、貴重な財源を拠出していただきました一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会をはじめ、本事業の実施にあたりご協力を賜りました全ての関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

平成27年3月
一般財団法人地域創造

1 趣旨

一般財団法人地域創造（以下「地域創造」という。）は、公共ホールの活性化、情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりに寄与し、あわせて公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として、複数の地方公共団体等が演劇公演を共同・連携して実施することを支援する。

2 対象団体

演劇事業の実施に関心があり、今後も演劇事業に積極的に取り組む意欲を持っている下記の団体を対象とする。

①地方公共団体

②地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体

③地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設立された、公益法人制度改革三法※による特例民法法人、公益財団法人等（②を除く。）のうち、地方公共団体が基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めたもの

※「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」

3 事業内容

当事業の各参加団体は、次の事業を実施する。

(1) 演劇公演

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他公演事業を実施するにあたり適当な施設を会場とし、演劇公演（再演作品）を実施する。

なお、公演は原則として有料とし、入場料収入は、開催地の主催団体に各々帰属するものとする。

(2) 地域交流プログラム

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他地域交流プログラムを実施するにあたり適当な施設を会場とし、地域交流プログラムとして公募型のワークショップまたは学校でのアウトリーチ（いずれか最低1回）を実施する。ただし、地域交流プログラムは演劇公演より前に実施するものとし、公演と別日程での実施も可能とする。また、2回以上の地域交流プログラムの実施にかかる経費は開催地の主催団体の負担とする。

4 地域創造の支援措置

(1) 準備会議の開催

地域創造は、参加が決定した団体を対象に、事業の具体的な流れの確認や予算の検討、実施スケジュールの検討を行うための準備会議を開催する。

(2) 助成金等

①公演事業に対する助成

地域創造は、公演事業にかかる費用（ホール使用料、現地宣伝費、上演に係る著作権料、現地増員人件費などの現地経費は対象外とする。）の3分の2を助成する。ただし、助成金は、1,500万円を上限とする。

②準備年度中にかかる費用の負担

地域創造は事業実施のため、準備会議等に要する経費で地域創造が認めるものについて、100万円を上限として負担する。

5 事業実施体制の整備等

(1) 実施体制の整備

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、代表となる団体を1団体決定するとともに、事業に最も適した組織づくりを行う。

なお、4(2)の地域創造からの助成金は、原則として代表団体、参加団体で構成される実行委員会またはネットワーク事務局に対して交付する。

また、事業にかかる経費のうち、地域創造からの助成金を除いた部分の負担の配分については、参加団体間の協議事項となる。

(2) 合意書の締結

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、本事業実施のために必要な事項（(1)の実施体制に関するものも含む。）を定めた「合意書」を締結する。

(3) 代表団体の役割

代表団体は、(2)の合意書締結のとりまとめのほか、ネットワーク事業に必要な会議の開催や収支管理、事業報告及び決算報告を行うこと。

6 損害賠償の免責等

参加団体は不測の事態により事業を中止した場合等の損害の補填として損害保険等に加入すること。また、事業の実施に伴い発生した損害賠償等の責任について、地域創造は責めを負わないものとする。

7 公演クレジット

次のクレジットを基本とする。

主催：開催地の主催団体

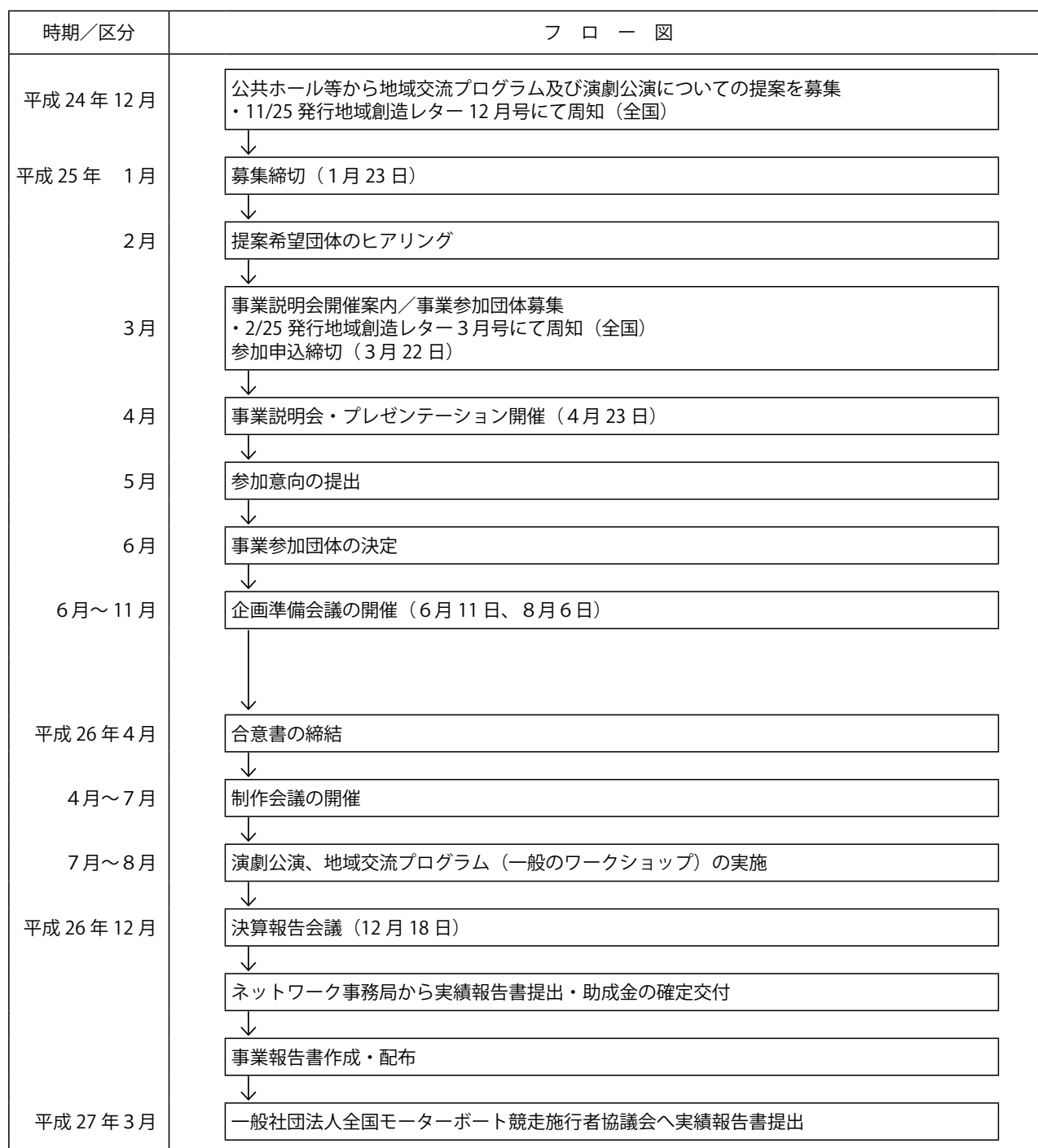
公共ホール演劇ネットワーク事業参加団体：参加の地方公共団体

助成：一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会、(一財)地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業

8 その他

地域創造は、助成金の支払い等の審査にあたって必要な書類を求められることができる。

事業の流れ



事業予算

費 目	金 額	摘 要
文 芸 費	1,991,300	脚本料／演出料／演出助手料／照明・音響・美術プラン料
出 演 料	6,480,000	出演料
舞 台 費	17,220,770	人件費／大道具・小道具制作費／衣装・かつら代／機材費／運搬費
公 演 費	5,263,950	交通費／宿泊費／日当
制作費等	1,341,388	ちらし・ポスターデザイン費／制作雑費／公演保険料
ネットワーク費	648,030	交通費／宿泊費／日当
ワークショップ経費	450,000	謝金
合 計	33,395,438	
参加館負担金（合計）	18,394,915	
神奈川	3,601,611	（6ステージ）
水戸	1,985,612	（2ステージ）
世田谷	3,028,614	（5ステージ）
佐世保	1,622,616	（2ステージ）
大野城	1,622,617	（2ステージ）
豊橋	2,455,615	（4ステージ）
春日井	2,195,615	（3ステージ）
北九州	1,882,615	（3ステージ）
地域創造助成金	15,000,000	（対象経費の2 / 3、上限1500万円）
雑収入	523	利息

公演概要

- 【 作 　】 前川知大
- 【演 　出】 小川絵梨子
- 【出 　演】 大窪人衛、浜田信也、伊勢佳世、盛隆二、岩本幸子、木下三枝子
- 【舞台監督】 谷澤拓巳
- 【美 　術】 土岐研一
- 【照 　明】 原田保
- 【音 　楽】 かみむら周平
- 【音 　響】 徳久礼子 (KAAT)
- 【映 　像】 山田祐二
- 【衣 　装】 今村あずさ
- 【ヘアメイク】 西川直子
- 【演出助手】 大澤遊
- 【演 出 部】 津江健太、渡邊亜沙子
- 【照明オペレーター】 梶谷剛樹 (KAAT)、大島真 (KAAT)
- 【音響オペレーター】 常田千晴
- 【衣 装 部】 山本有子
- 【プロダクションマネージャー】 安田武史 (KAAT)
- 【宣伝美術】 末吉亮 (図工ファイブ)
- 【宣伝イラストレーション】 安達亨+板倉俊介 (AC部)
- 【制 　作】 櫻井琢郎 (水戸芸術館ACM劇場)
- 根本晴美 (世田谷パブリックシアター)
- 田上佐和子 (アルカスSASEBO)
- 中園祐希 (大野城まどかぴあ)
- 矢作勝義 (穂の国とよはし芸術劇場PLAT)
- 相馬加奈子 (公益財団法人かすがい市民文化財団)
- 三橋由佳 (北九州芸術劇場)
- 中島隆裕 (イキウメ／エッチビイ)
- 湯川麦子 (イキウメ／エッチビイ)
- 坂田厚子 (quinada)
- 石井宏美 (KAAT神奈川芸術劇場)

ツアースケジュール

	日程	会 場	内 容	スタッフ移動	キャスト移動	
7月	12日 土	KAAT 神奈川芸術劇場	仕込み			
	13日 日		仕込み			
	14日 月		舞台稽古			
	15日 火		舞台稽古			
	16日 水		舞台稽古			
	17日 木		舞台稽古			
	18日 金		①公演 19:00			
	19日 土		②公演 11:00 ③公演 15:00			
	20日 日		④公演 11:00 ⑤公演 15:00			
	21日 月		WS11:00 ⑥公演 14:00 ばらし・搬出			
	22日 火					
	23日 水					
	24日 木	水戸芸術館 ACM 劇場	仕込み		東京→水戸	
	25日 金		舞台稽古			東京→水戸
	26日 土		WS11:00 ①公演 14:00			
	27日 日		WS11:00 ②公演 14:00 ばらし・搬出		水戸→東京	水戸→東京
	28日 月					
29日 火						
30日 水	シアタートラム	仕込み				
31日 木		舞台稽古				
8月	1日 金		WS16:00 ①公演 19:00			
	2日 土		②公演 11:00 ③公演 15:00			
	3日 日		④公演 11:00 ⑤公演 15:00 ばらし・搬出			
	4日 月				東京→佐世保	
	5日 火	アルカス SASEBO	仕込み			東京→佐世保
	6日 水		①公演 19:00			
	7日 木		WS11:00 ②公演 14:00 ばらし・搬出		佐世保→大野城	佐世保→大野城
	8日 金	大野城まどかぴあ	仕込み			
	9日 土		①公演 17:00			
	10日 日		WS11:00 ②公演 14:00 ばらし・搬出		大野城→東京	大野城→東京
	11日 月					
	12日 火					
	13日 水					
	14日 木	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT	仕込み		東京→豊橋	
	15日 金		WS15:00 舞台稽古			東京→豊橋
	16日 土		①公演 11:00 ②公演 15:00			
	17日 日		③公演 11:00 ④公演 15:00 ばらし・搬出		豊橋→東京	豊橋→東京
	18日 月					
	19日 火					
	20日 水	春日井市民会館	仕込み		東京→春日井	
	21日 木		舞台稽古			東京→春日井
22日 金		WS13:00 ①公演 16:00				
23日 土		②公演 11:00 ③公演 15:00 ばらし・搬出		春日井→東京	春日井→東京	
24日 日						
25日 月						
26日 火						
27日 水						
28日 木	北九州芸術劇場			東京→北九州		
29日 金		仕込み			東京→北九州	
30日 土		WS14:00 ①公演 17:00				
31日 日		②公演 13:00 ③公演 17:00 ばらし・搬出				
9月	1日 月			北九州→東京	北九州→東京	

前川 子どもの鑑賞を前提にした芝居づくりは初めてでしたが、いつもと違う準備や発想を大きく変えることはありませんでした。



自分の子どもの頃を思い出しても、「少しぐらい分からないところがあるもののほうが記憶に残る」というような経験があったので、親切にし過ぎないほうが集中して観てもらえるかな、と思って。ただ、僕の作風は少々理屈っぽいので（笑）、ストーリー展開などはなるべくシンプルを心がけました。

小川 私も、特別気負うようなことはなくて。どちらかと言えばいつもはできない、演劇としてはダイレクトな演出、仕掛けらしい仕掛けなどを演出として楽しみながら使えるのではないか、という期待感が大きかったですね。

前川 この作品には自分の子どもの頃の体験を結構反映することができました。そのことで作品が、年齢に左右されないものになったところもあると思う。輝夫が祖母の家に対して不安や恐怖を感じるの、彼の中にある「罪悪感」のため。無意識下の罪悪感から、目に見えないはずのものが形を変えて現れ、それに怯えるというのはホラーの常道ですから。

小川 そんなスタンダードな戯曲だからこそ、俳優やスタッフさん、もちろん前川さんにも何度も稽古場に来ていただいて、色々なアイデアを出し合いながらつくれた。私にとってはとても刺激的で楽しい時間でした。

でも自分たちには面白くてきている実感があったのですが、最終段階で「子どもたちは喜んでくれるのか？」と不安になって。初めてのことなので彼らの反応は未知数。それで、初日直前にプレビューとして、20組超の親子のお客様に観ていただくことにしたんです。



前川 結果、予想以上にたくさん笑ってくれたし、集中するところはギュッと観てくれて。

小川 でも、終演後に感想を聞くと、プロジェクターで投影していた「影の位置がズレてる！」とか鋭いツッコミもくれたり（笑）。本番も、子どもたちが劇場の空気を作っているのがはっきりと分かるんです。笑ったり怖がったりする素直な感情表現に、大人も釣られるようにお芝居の世界に引き込まれていく。子どもたちの存在がこの作品を完成させてくれました。

前川 舞台を挟む対面型の座席にしたのも良かった。大人の方からすると、前列に子どもたちがいて、向き合う客席からは、その子どもたちのリアクションも作品の一部として目に入る。子どもたちのダイレクトな反応が、作品にも強く働きかけたんだと思います。今回ツアーで8つの劇場へ作品を持っていきますが、どの劇場でもたくさん子どもたちがいる状態で観て欲しいですね。

小川 この作品にとって子どもたちの存在はマスト。より良く、楽しく観ていただくためにも、大人の方たちには是非、子どもたちと一緒に来場していただきたいです。



Text：尾上そら Sora Onoe

撮影：西野正将

ワークショップの流れ

会場：舞台上舞台の上演前、舞台セットの中

対象：小学校1～6年生（20名程度）

時間：ワークショップは、上演前60分（例 11:00～12:00）

作品の上演（例 14:00～15:10）

フィードバックは、終演後約30分（例 15:20～15:50）

講師：出演者の中から俳優が2名

（各地でいろいろな組合せの俳優で行う）

【あらすじ】

祖母が住んでいた家にすむことになった。引っ越したその日から、僕はどことなく薄暗いこの家が怖かった。母に頼んで、部屋の電気を明るいものに変えてもらったけど、部屋のすみっこや、ちょっとした影に、何かがある気がしてならない。どうやら やっぱり…。

<プログラムの流れ>

- ① 参加者、講師の名前を紹介
- ② 舞台セットになっている主人公の部屋の中を説明。壁や廊下を歩いて部屋の中へ入り自由に歩きまわる。
- ③ 【引っ越しゲーム】 散らかっている部屋の中を2チームに分かれて、衣類を段ボール箱に片づけるチームと本やDVDを段ボール箱に片づけるチームで1分間の競争をする。
舞台セットや小道具の面白さにふれてもらう。
- ④ 【影ゲーム】 舞台セットの大きな白いカーテンを挟んで、各チームに分かれて影をつくり、お互いのマネをするゲーム。
このお芝居の重要ポイント「影」を使って遊び、意識してもらう。
- ⑤ 【段ボールゲーム】 空の段ボールを1チーム分用意し、1人に1つ段ボール箱が渡される。1つだけ重くしておいて、空の段ボール箱を持っている人も重い演技をして、相手チームに本当に重い段ボールを当てられないようにするゲーム。当てる側も演じる側も作戦会議を重ね、アイデアを出しながら行う。
演じること・観ることの楽しさを体感してもらう。
- ⑥ 部屋の中央にあるセットのベッドを囲んで座る。みんなで目をつむって気配を感じる。風鈴が鳴ったり、風が吹いたり、水槽の水が跳ねる音がしたり、周りで起こっている気配を感じる。
「見えないけれどなにかいる」感覚を体感してもらう。
- ⑦ 参加者にメダルを渡す。メダルと同じ模様の星の印が、舞台セットの中にあるので、開場中や上演中に、さがしてもらい、どこにあったかフィードバックで教えてもらう約束をして終了。

<フィードバック>

終演後、ワークショップの参加者は客席に残ってもらい、ホールスタッフが参加者に下記の質問などを行い、子どもたちとコミュニケーションを図った。「星のマークがどこにあったか?」「主人公は、引っ越しをして何日目だったか?」「名無しさんに、名前がないのはなぜ?」「主人公が、また引っ越ししていたのはなぜ?」「セリフで出てきた“出世”するとはどういうことだと思う?」など。



春日井市民会館でのワークショップ

■公益財団法人神奈川芸術文化財団



■KAAT 神奈川芸術劇場 <中スタジオ>

[所在地]：神奈川県横浜市中区山下町281

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

- ・ 7月18日（金） 19：00 156人
- ・ 7月19日（土） 11：00 132人 15：00 82人
- ・ 7月20日（日） 11：00 136人 15：00 143人
- ・ 7月21日（月・祝） 14：00 169人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

実施日：7月21日（月・祝）、
時 間：11：00～12：00および終演後30分、参加人数：19人
[入場料金] 前売・当日とも こども 1,000円 おとな 3,500円
おやこチケット 4,000円 シルバー割引 3,000円

■この事業への参加理由

KAAT 神奈川芸術劇場は、2011年の開館当初より、「KAATキッズ・プログラム」という子供向けプログラムのシリーズを続けています。「決してこどもだましではない、大人も子供も一緒に楽しめる作品」をモットーに掲げ、プログラムづくりを行ってまいりました。

他の地域の劇場と協働し連携を深め、技術・制作のノウハウを共有し、今後の子供向け作品の企画につながるヒントを得るために、本事業に参加しました。

■この事業全体を振り返って

1年以上をかけ、「暗いところからやってくる」を各参加館とともに制作し、全公演無事に上演させていただいたことは、大変有意義でした。各館の意見や、各地の状況、様々なケースを目の当たりにし、経験できたことで、今後の劇場運営や、企画に活かせる多くのことを学びました。

また、地域交流プログラムとして、演出家の小川絵梨子氏と「鑑賞のためのワークショップ」という、新しいタイプのワークショップのモデルケースを創ることができました。

参加館8館で一丸となって、このような意欲的な試みに挑戦でき、大変充実した事業となりました。

■今後の事業展開

本事業を通して学んだ経験を活かし、今後もより多くのこどもたちに舞台芸術に親しんでもらえるよう、公演制作およびワークショップの実施等により一層、力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。

またこれを機に、今後も引き続き、各地の公共劇場との連携の在り方を模索していきたいと考えております。

■公益財団法人水戸市芸術振興財団



■水戸芸術館A C M劇場

[所在地]：茨城県水戸市五軒町1-6-8

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

- ・ 7月26日（土） 14：00 186人
- ・ 7月27日（日） 14：00 199人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

- ・ 7月26日（土） 11：00 13人
- ・ 7月27日（日） 11：00 16人

[入場料金]

こども：1,500円（高校生以下）、おとな：3,000円
親子A：4,000円、親子B：5,000円

■この事業への参加理由

毎年夏休み期間に、水戸芸術館の美術・音楽・演劇の三部門が共同で企画するキッズ・プログラム「こども・こらぼ・らぼ」を実施している。プログラムのひとつ、「劇場体感ツアー」では、舞台裏の見学にとどまらず、実際に台本を使用して舞台上で演じたり、照明、音響の操作などを親子で体験してもらっている。本事業では、親子で鑑賞することが、同時に劇場という空間を体験できる企画として考えられており、従来からの水戸芸術館のキッズ・プログラムの方針に、鑑賞の要素を積極的に加えることで、より多くの地域住民に舞台体験の機会を提供できると判断した。

また、前川知大氏の作品の上演を、この機会に紹介できることも大きな理由のひとつである。水戸芸術館では、東日本大震災により前川氏の新作とワークショップが中止となった経緯があり、本事業において、ぜひとも地域住民に紹介しておきたかった。

■この事業全体を振り返って

地域に対する普及啓発として、開館以来さまざまな事業を実施してきた。リージョナル・シアターとして、館独自の事業展開を図ることで、地域住民に水戸ならではの舞台芸術の楽しさや有効性などを伝えてきた。本事業においては、全国各地にある公共劇場とネットワークを組んだ上で、地域ごとに培ってきた普及啓発についての新たなノウハウを共有できたと考えている。また、宣伝広報についても、参加館と情報を伝え合うことできめ細かい対応ができた。水戸芸術館としては、これまで水戸市を中心とした普及啓発の展開を、一気に茨城県中央地域にまで広げることができ、新規の観客層を作り出すことができた。作品の紹介の仕方や上演の形態などについても、いろいろと試みることができ、今後の事業に活かしていきたいと考えている。

■今後の事業展開

これまで単独で、独自の事業展開をすることで、地方都市における特色ある舞台芸術の振興を図ってきた。さらに多くの地域住民に、事業の内容を理解してもらうには、今回のような演劇作品を通じた全国的なネットワークを構築し、作品の質を上げ、事業内容の周知を徹底的に図ることが重要と考えている。本事業に参加した各地の公共劇場とは、今後、連携あるいは共同制作を前提に、事業を展開していきたい。また、水戸芸術館が幹事館の役割を担う作品創造も準備していきたい。

■公益財団法人せたがや文化財団



■シアタートラム

[所在地]：東京都世田谷区太子堂4-1-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

- ・8月1日（金）19：00 208人
- ・8月2日（土）11：00 174人 15：00 189人
- ・8月3日（日）11：00 188人 15：00 197人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

- ・8月1日（金）16：00～17：00 20人

[入場料金]

こども 1,000円（4歳～小学生） おとな 3,500円
中学生～高校生 1,750円 親子ペア 4,000円
世田谷パブリックシアター友の会おとな 3,000円
アーツカードおとな 3,200円 U24 1,750円

■この事業への参加理由

初演を拝見し、良質である事、クオリティーの高い事に驚嘆し、機会があれば世田谷区の子ども達にも観せたいと強く思いました。そしてシアタートラムでは、劇団イキウメの公演を毎年5月に開催しており、世田谷区民に馴染みのある、人気のある公演となっているので、前川知大作による、「こどもとおとなのなめのお芝居」は当劇場の顧客にとって、受け入れやすく、話題にもなり、更に反響のある公演になるに違いないと確信しました。

内容に関しても、主人公が中学生という設定が、子ども達が自分自身を投影して作品世界に入り込む事を容易にし、飽きさせない仕掛けに溢れた演出は子どもの好奇心を全開にするはずだと思いました。

以上の理由から本事業に参加いたしました。

■この事業全体を振り返って

ワークショップについてですが、目的が明確で、内容も分かり易く、優れたワークショップだったと思います。また、ワークショップリーダーを各地の制作スタッフが担えたことは、研修という意味でも有意義だったと思います。

様々な条件下の8劇場を回るツアーの調整・実施は非常に大変で骨の折れる事であったのではないかとお察しします。ツアーのために、全体のボリュームやかける労力をスリムに絞る事前準備がいかに困難な事か、幹事館だけでなく、全体でも共有できるとより良かったのではないかと思います。

■今後の事業展開

世田谷パブリックシアターでは、一旦途絶えていた子どものためのプロジェクトを本年より再開し、そのスタートの年に、本事業に関わることが出来たことは大変有り難かったと感謝しております。子どもたちの劇場デビューになるかもしれないプログラムは慎重に責任を持って発信していかねばならないと考えています。今後も今回のような優れた作品を上演していきたいと考えておりますので、ネットワーク事業でまたこのような機会がありましたら、是非、お声掛けをいただきたく思います。

■公益財団法人佐世保地域文化事業財団



■アルカスSASEBO大ホール（舞台上舞台）

[所在地]：長崎県佐世保市三浦町2-3

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

・ 8月6日（水） 19：00 158人

・ 8月7日（木） 14：00 163人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

・ 8月7日（木） 11：00 16人

[入場料金]

全席自由、大人2,000円、子ども（小～高校生）1,000円

■この事業への参加理由

アルカスSASEBOでは0才、3才からクラシック音楽を鑑賞するコンサートを定期的で開催しており人気公演の一つになっていることから、演劇のジャンルでも親子向けの作品を上演し、新たな舞台芸術と触れ合う機会を創出したいという思いがありました。「ファミリー向け鑑賞演目」の本公演では、客席170名程度の小空間で、子供たちに近い距離で生の演劇に触れる機会を持ってもらうこと、また単なる「子供向け」ではなく「おとなとこどものためのお芝居」作品として新しい切り口の作品に出会うことで、新しい客層を開拓していきたいと考えました。

■この事業全体を振り返って

集客のメイン対象を小学生とその保護者にすることで、同時期に開催した当財団主催のファミリー演目（バレエ、音楽）との合同チラシを市内全小学校へ配布するなど、劇場の取り組みを広く告知する機会となりました。

ツアー日程調整にあたり、夏休み期間ということで、平日開催に挑戦したのも、市場を知る上で今後の参考となりました。

準備・制作会議と共有メールを中心に準備を進めるなか、各館ごとの運用ルールがあり、細かいことも同じ認識だろうと思いつまらずに確認をすることが大切で、それがノウハウの共有にも繋がるということを改めて実感しました。

■今後の事業展開

財団として過去数年間、演劇事業から遠ざかっていた時期があり、25年度・26年度とネットワーク事業に参加することで、良質な作品の公演を実現することができました。今年度から少しずつ、演劇企画を増やしつつあります。本事業で培った地域の方々との交流を活かして、演劇企画を盛り上げていきたいと思えます。

■公益財団法人大野城まどかぴあ



■大野城まどかぴあ大ホール（舞台上舞台）

[所在地]：福岡県大野城市曙町2-3-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

・ 8月9日（土）17：00 120人

・ 8月10日（日）14：00 124人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

・ 8月10日（日）11：00 15人

[入場料金] ※当日500円UP

一般2,000円、子ども（高校生以下）1,000円

■この事業への参加理由

当館ではここ数年アウトリーチに力を入れて実施しており、参加申込も増加の傾向にあります。そのような中で本事業を活用し、今後のプログラムの充実を図ること、参加する劇場の方々と意見・情報交換を経て職員の資質向上及びノウハウを構築することを目標としていました。

また、当館で行われている各事業後に回収するアンケートから、親子向けのイベントを望む声が多いものの、単独での親子向けの公演実施が難しい面もあり参加しました。

■この事業全体を振り返って

本事業の作品は再演であることが、とてもよかったです。宣伝文句や対象年齢が明確なため、対象にアプローチしやすくなかなか実施できなかった小学生～中学生向け作品を上演することができました。ワークショップについては、「お芝居を観るためのワークショップ」という一貫したテーマに基づきワーク内容を数回検討し、マニュアル化。各地でファシリテーターを変え開催館の職員が振り返りを担当することで、ダイレクトに参加者の声を聴くことができました。作品を観る前の導入としての機能は果たしていたように思いますが、振り返りでの各劇場の差や最終的なゴールが不明瞭となったことが気になりました。本事業に参加したことで、地方と都市部の考え方の違いや、他館の現状や台風などの自然災害の対応の仕方を共有でき、また当館に図書館や生涯学習センターがあるメリットなどを再認識することができ良かったように感じています。

■今後の事業展開

本事業を実施したことで、小学生～中学生を対象とした事業の需要があることが大きな発見でした。今後もこれまでの事業を検証し、福岡都市圏での文化芸術事業の状況に留意しながら、市民のニーズに積極的に対応していきたいです。ワークショップについては、目的の明確化・アーティストと担当者の相互理解がプログラムを検討する上で重要であると感じています。

また、事業担当者が得たノウハウを職員内で共有し、他館との協力・共同事業についても積極的に参加・発信していけるよう取り組みたいと考えています。

■公益財団法人豊橋文化振興財団



■穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール舞台上特設舞台

[所在地]：愛知県豊橋市西小田原町123番地

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

・ 8月16日（土） 11：00 118人 15：00 128人

・ 8月17日（日） 11：00 96人 15：00 110人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

・ 8月15日（金） 15：00～16：00 8人

[入場料金] 大人3,000円、24歳以下1,500円、

中・高校生1,000円、小学生500円

■この事業への参加理由

昨年、KAAT神奈川芸術劇場で上演されたプレビュー公演を観て、非常に優れた作品であり、かつ子どもから大人まで幅広い世代に観てもらいたい内容だと感じたため。また、作・前川知大さんと演出・小川絵梨子さんは、ともに読売演劇大賞を受賞するなど、演劇界では気鋭のクリエイターとして注目されており、彼らが「決して子どもだましではない」演劇作品を創るという方向性に共感したため。

■この事業全体を振り返って

【集客面】豊橋という地域において、お盆の上演は非常に難しかった。お盆をはじめ夏休みの土日は、他にも家族で楽しむイベントが多く、これらの日程に上演日を集中させることが適当かどうかは検討が必要である。また、公演チラシでは魅力を伝えることが難しく、別の宣伝用チラシも追加で作成したが大きな集客増には繋がらなかった。上演回数についても検討の余地があった。

【運営面】大きな収穫は、宣伝方法や予算面など細かな打ち合わせをしていくことで、他地域の特性や物の考え方の違いを認識できたことであり、豊橋で今後事業を実施していくうえでの糧となった。複数の劇場との意思決定は時間が必要になるので、さらに余裕を持ったスケジュールの確保が必要であると感じた。

【公演内容】主ホール舞台上という特別な空気感のなか、間近で観る俳優陣の演技や作品内容は非常に好評で、初めて演劇を観る子どもから演劇ファンの大人、そして老年代にまで楽しめる内容であった。集客面との兼ね合いを図りながら、上質な作品を提供し続けることが劇場への信頼に繋がるのだと確信した。

■今後の事業展開

来年度以降も、他地域の公共劇場との連携をより強めていくことを考えている。そして、公共ホール演劇ネットワーク事業を活用しつつ、KAAT神奈川芸術劇場などのように、今後は豊橋からも作品を提案できるような劇場としての力を身に付けていきたい。

■公益財団法人かすがい市民文化財団



■春日井市民会館（舞台上特設舞台）

[所在地]：愛知県春日井市鳥居松町5-44

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

- ・ 8月22日（金） 16：00 86人
- ・ 8月23日（土） 11：00 61人 15：00 63人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

- ・ 8月22日（金） 13：00～14：00 16人

[入場料金]

子ども1,500円、おとな3,000円、親子券4,000円

■この事業への参加理由

今回、演劇ネットワーク事業に参加することに決めた大きな理由のひとつは、「暗いところからやってくる」が舞台上舞台で行う作品だったことです。春日井市民会館の舞台上に特設舞台を設置して公演を行うことは、当財団としては初の試みでした。今回の公演を通じて、施設のポテンシャルを広げることに挑戦できればと思い参加しました。

また、子どもから大人まで楽しめる演劇作品を上演するという財団のミッションと、演劇ネットワーク事業の内容が合致したことも参加理由のひとつです。演劇ネットワーク事業への参加を通じて、子どもをターゲットとした演劇事業や、演劇ワークショップに対する市民のニーズを探りたいと考えました。

■この事業全体を振り返って

今回の事業では、他館のスタッフと会議を重ねることで、情報交換をしながら公演制作を行うことができました。ワークショップに対する考え方や、チケット販売戦略など他館の制作ノウハウを垣間見ることによって、自分たちの公演制作について見つめなおすきっかけとなりました。

また、公演には市内の子どもたちや、その保護者が来場してくれました。他館と違いチケット完売には至りませんでした。観に来てくださったお客様は満足して帰っていかれました。当財団としては、久しぶりの子ども向けの演劇公演でしたが、良質な演劇作品を上演し続けることで、他の地域のように市民の演劇に対するニーズは、まだまだ伸びるという手ごたえを感じました。

■今後の事業展開

今後は、幅広い世代に向けて良質な演劇作品を定期的上演していきたいと思っています。今回で得た経験をもとに、舞台上舞台による演劇作品の上演の可能性も積極的にさぐっていきたくて考えています。

また、ワークショップに関しても、幅広い世代に向けて、演じることに関するワークショップだけでなく、照明や音響など舞台スタッフにも興味を持っていただけるような多彩な演劇ワークショップを開催していきたいです。

■公益財団法人北九州市芸術文化振興財団



■北九州芸術劇場 中劇場（舞台上舞台）

[所在地]：北九州市小倉北区室町1-1-1-11

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

- ・ 8月30日（土） 17：00 147人
- ・ 8月31日（日） 13：00 131人
- ・ 8月31日（日） 17：00 130人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

- ・ 8月30日（土） 14：00 11人

[入場料金]

大人3,000円、子ども（高校生以下）1,500円、親子4,000円

■この事業への参加理由

KAAT 神奈川芸術劇場からご提案いただいた本作では、大人も子どもも共通して感じる見えないものに対する意識や想像力を働かせ、幅広い世代に楽しめる演劇作品として成立している稀有な作品だと感じました。また舞台装置や音響を駆使した演出にも魅力を感じました。

事業を通じて、演劇の手法の幅広さや、舞台として体感することの奥深さを感じて欲しいと思い、本作品を夏の子ども向け演目として実施出来ればと考え、参加を希望致しました。

また、事業に参加することで他館と連携し、公演事業を実施するにあたっての必要なノウハウを吸収し、今後の劇場事業の拡充に活かしたいと考えました。

■この事業全体を振り返って

本事業に参加したことで、他館との連携により、様々な情報交換が出来たことは大変参考になりました。事務的な面では、各館の事業実施に関する環境やバックグラウンドの違いにより、事業の共通事項への認識について、最後まで共有できない部分があったように感じました。参加館との合意事項については、基本的に制作会議内で行うなど、参加館同士のコミュニケーションが最も重要な事業だと再認識しました。

特に地域交流プログラムでは、ワークショップについての考え方が異なることや、プログラム内容の共有と理解の大切さを実感するなか、今回は事前のデモンストレーションがあったことで、プログラムについての検証を各館担当者と一緒に行い、自館での実施に伴う準備やイメージを持つことが出来ました。

制作館を中心に他の劇場との情報交換等が出来たことが有効であったと思います。そのなかで、予算を含む事務的な作業や、現場に関する内容等の調整の重要性や、それぞれの地域の環境や状況の違いを、制作的にも理解しなければならぬことを改めて学ぶことが出来ました。

公演では、舞台上舞台という特殊な環境により、普段とは異なった空間での公演となり、改めて舞台空間の多様性を提案することが出来たのではないかと思います。券売には当初苦戦しましたが、最終的には8割以上の動員がありました。

■今後の事業展開

今まで培ってきた地域やアーティストとの関係を発展させながら、継続的な公演事業、ワークショップ・アウトリーチ事業、研修事業等を行なっていきたいと考えています。

また職員が今回の事業で得た経験や知識を、職場内で共有し、劇場のノウハウとして蓄積していくことで、今後の事業の質を高めていければと思っています。

地域で質の高いワークショッププログラムを継続して行うために、地域のアーティストと協働してのファシリテーターやコーディネーターの育成が急務だと感じています。地域文化の担い手となる人材の育成についても継続的に行っていきたいと考えます。



●ちらし (表)

平成26年度公共ホール演劇ネットワーク事業
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース

KAAT キッズ・プログラム 2014
子どもとおとなのためのお芝居

暗いところからやってくる

作: 前川知大 演: 小川絵梨子

2014年7月18日(金)~7月21日(月・祝) KAAT 神奈川芸術劇場 (中スタジオ)

出演: 大窪人衛 浜田信也 伊勢佳世 盛隆二 岩本幸子 木下三枝子

前川知大×小川絵梨子が描く、この世の裏側にあるもうひとつの世界。不思議でちょっと懐かしい、夏休み最後の三日間のおはなし。子どもとおとなたちのためのお芝居が、2年ぶりにKAATにかえります!

亡くなった母の家に住むようになった天野一家。中学生の輝夫は、どこか懐かしい母の音が聞かれた。「影を消すには、光を消さないんだ」といわれて暗くしてみると……どうやらやっぱり、ぼくの隣に何かがいる。

チケット発売日
4月19日(土) ※おながわメンバーズ(メンバーシップ制) 4月26日(土) ※一般発売(電話・窓口・インターネット)

チケット料金(税込・全席自由)
子ども…1,000円(高校生以下) おとな…3,500円 おやこチケット…4,000円(おとな3名、子ども1名(高校生以下)1名)
シタバー割引…3,000円(6歳以上) ※シタバー割引は、他館規定で一般発売からチケットおながわ(電話・窓口)のみのお取扱。 ※未成年者のご入場はご遠慮ください。

日程・会場
2014年7月18日(金)~21日(月・祝)
KAAT 神奈川芸術劇場 (中スタジオ)

7/18	7/19	7/20	7/21
金	土	日	月・祝
	11:00	11:00	14:00
19:00	15:00	15:00	
	昼	夜	

出演者による観劇前のワークショップ開催!!
「暗いところからやってくる」6月21日(祝)に、
「暗いところからやってくる」観劇前ワークショップを開催します!
※定員有限。お申し込みは先着順となります。お申し込みはチケットご購入時
同時に申し込みで応募を認めて、抽選となります(抽選結果は7/18日)
抽選日: 7月21日(月・祝) 対象: 小学生1年生~6年生 定員: 20名
抽選結果発表: 7月21日(月・祝) 抽選結果発表会場: KAAT 神奈川芸術劇場

※抽選: 応募フォームより抽選番号を印刷し、抽選当日、抽選会場へ持参してください。
※抽選結果発表会場: KAAT 神奈川芸術劇場 (中スタジオ) 抽選結果発表時間: 15:00~16:00

KAAT 神奈川芸術劇場
〒221-0023 横浜市中区山下町281
TEL: 045-653-6500(受付) FAX: 045-681-1691
http://www.kaat.jp/

●チケットおながわ
TEL: 0570-015-415
(10時~18時・休日)
インターネット予約:
http://www.kaat.jp/

●チケットぴあ
TEL: 0570-02-9999(コフ436-756)
http://pi.jp/

●e+ (イープラス)
http://eplus.jp/kaat/
PC・携帯も利用可

●インターネット
TEL: 0570-084-003(コフ35189)
0570-000-407(オペレーター予約)
http://i-tike.com/

●チケットカウンター
http://www.tkacm.net/

主催: KAAT 神奈川芸術劇場
協賛: 神奈川芸術劇場協会 横浜芸術家協会

スタッフ
演出監: 田澤利巳 美術: 上越幹一 照明: 渡辺 浩 音楽: 中島しほ子 音響: 藤本 弘子(KAAT神奈川芸術劇場) 衣装: 中村あずさ ~ファイブ(高尾市) 演出助手: 大塚 真
プロデューサー: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場)
制作: 北川 隆(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場)
共同制作: 横浜の国(株) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場) 演出: 藤原 孝一(KAAT神奈川芸術劇場)
主催: KAAT 神奈川芸術劇場
協賛: 神奈川芸術劇場協会 横浜芸術家協会

●ちらし (裏)

平成 26 年度公共ホール演劇ネットワーク事業報告書

編集・発行／一般財団法人地域創造

発行日／平成 27 年 3 月

Japan Foundation for
Regional Art-Activities